

# センターだより 5月号

～ 歩み寄り かける言葉に 心が通う ～

〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢 2877-1

TEL (病 院) 186-025-780-6543 (歯 科) 025-780-6544

(人間ドック・健康診断) 025-785-5005

URL: <http://yuzawa.jadecom.or.jp> Mail: [yuzawahp@jadecom.jp](mailto:yuzawahp@jadecom.jp)

## 今月の専門外来診察日

診療科	医 師	曜	診察日・その他
禁 煙 外 来	常勤医	火・金 (各午後)	完全予約制になります。 お電話にて予約してください
コンタクト外来	寺 内	木	12日、26日 (お電話にて予約してください)
小 児 科 (アレルギー)	中 島	金	6日、20日 (午後は予約患者様のみ) <b>4月から毎月第1、第3金曜の2日になりました</b>
口 腔 外 科	戸 谷 小根山	水	11日、25日 歯科・口腔外科は予約制となります。 <b>☎025-780-6544</b> にお電話ください。

## 今月の休診予定

日	曜	診療科	医 師	日	曜	診療科	医 師
5月1日～ しばらくの間		地域家庭診療部	土 屋 ※代わりの医師が診 察致します	19日午後	木	眼 科	寺 内
16日 (月) 17日 (火)			井 上	14・23	土	歯 科	笠 原
27	金		西 谷	31	火		

## 入院患者様のご面会についてお願い

3月4日より、入院患者様へインフルエンザ等の感染症防止対策とし、面会制限をさせていただいております。インフルエンザ、胃腸炎等の感染症罹患者は全国的には終息傾向ではありますが、平成28年第5週現在においても新潟県また、魚沼、佐渡地域は引き続き、警報基準を超えております。当センター外来受診者においてもインフルエンザ等による感染症罹患者も受診されている事から、引き続き面会制限を行っております。

入院患者様へのご面会におかれましては特別な場合を除き、引き続きご遠慮いただきますようご協力、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、ご不明な点等ございましたら患者相談室までお問い合わせください。

【看護部 地域連携室兼患者相談室 室長 高橋 万里子】

## 着任医師ご挨拶



はじめまして、地域医療プログラム2年目、医師4年目の児玉崇志と申します。4年前、学生の時に2週間この病院に実習に来させて頂いた事があります。様々な分野の病気を診るだけでなく、患者様の生活背景も考えて医療をされている姿に魅力を感じて、同じ道に進む事に決めました。出身は広島、お好み焼きが得意料理、大好物です。もちろん広島風！見かけによらず、中高は水球、大学は柔道とどっぷりスポーツをしてきました。1年間の勤務なので、湯沢の四季の変化の中で患者様の生活を感じつつ、貢献していけたらと考えています。よろしくお願い致します。

【地域家庭診療部 医師 <sup>こだま</sup>児玉 <sup>たかし</sup>崇志】



はじめまして、長岡赤十字病院後期研修3年目の渋谷裕之と申します。高校を卒業後、各地を転々とし24年振りに家族を引き連れ新潟県に戻って参りました。湯沢は4月から9月までの研修となりますが、自分自身も自然豊かな湯沢を満喫し、患者様とも良好な関係を築いていきたいと思っております。今度ともよろしくお願い致します。



【地域家庭診療部 医師 <sup>しぶや</sup>渋谷 <sup>ひろゆき</sup>裕之 4/4から9/30までの予定】



はじめまして。4月より地域医療振興協会の家庭医療後期研修医として着任をいたしました、山中佳保里（やまなか かおり）と申します。これまで精神科を専門として長く貢献させて頂きましたが、内科もできる医師を目指しております。中々、十分にお役に立てないかもしれませんが、スタッフの皆様に助けて頂きながら精一杯働かせて頂きますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【地域家庭診療部 医師 <sup>やまなか</sup>山中 <sup>かおり</sup>佳保里 4/4から6/30の予定】



今年の4月より湯沢町保健医療センター眼科の月曜日、勤務をさせて頂く事になりました。東京生まれ、東京育ちではありますが、研修医時代には鹿児島地域医療・離島医療に1ヶ月間従事させて頂き、地域医療の暖かさ、大変さを鮮明に覚えています。まだまだ若手ではありますが、越後湯沢の新鮮な空気を味わいながら、地域の患者様の眼を改善・維持できればと思います。病院スタッフの方々の支えを頂きながら、これからよろしくお願い致します。



【東京慈恵医科大学付属病院 眼科医師 <sup>こまつ</sup>小松 <sup>こおじ</sup>功生士】

## 看護の部屋



こんにちは。3 月下旬からこちらで働かせて頂いている榎本と申します。趣味は身体を動かす事で、高校まで野球をやっていました。今は時折サイクリングを楽しんでいます。仕事は大変ですが、ベテラン揃いの職員の皆様に支えられ、何とかやっています。まだ、不慣れな面も多々ありますが、どうぞよろしくお願い致します。

【看護部 療養病棟 看護師 <sup>えのもと</sup>榎本 <sup>よしたか</sup>能隆】



## ご意見箱



★ 入院したとき、担当看護師？が分からない。

【匿名】

⇒入院患者様のお世話をする看護師は、日々、各部屋を担当する看護師と入院から退院までの看護方針などの責任を持つ看護師と、それぞれに受け持ち看護師がおります。双方に 患者様に分かりやすく表記できるよう検討中です。それまでは、口頭でお知らせ致します。ご意見ありがとうございました。

【看護部 地域連携室兼患者相談室 室長 高橋 万里子】



★ 東京からわざわざ面会に来ましたが面会させてもらえませんでした。対応を考えてください。

【3月29日 男性】



⇒ご意見ありがとうございました。せっかく来て頂いたのに申し訳ありませんでした。面会時間や面会制限などに関しましてご案内が足りませんでした。面会制限や時間外のご面会に関しましてはお電話等でお問い合わせ頂けますようお願いいたします。

【看護部 地域連携室兼患者相談室 室長 高橋 万里子】



★ 病院周辺に食事をする所が無く、病院内の食堂を一般に開放してくれると助かります。

【76歳 男性】

⇒御意見ありがとうございました。誠に申し訳ありませんが入院患者様用の食堂を一般の方に開放することは出来かねます。院内で飲食を希望する場合は、総合案内等、職員までお尋ねください。ご不便をおかけ致します。 【看護部 地域連携室兼患者相談室 室長 高橋 万里子】



## 今月の話題

### 「お薬手帳」って必要？

～患者様と医師、薬剤師をつなぐ～



唐突ですが、皆様「お薬手帳」をお持ちですか？病院や調剤薬局でお見せ頂いていますか？今月は「お薬手帳」の活用法について少しお話ししたいと思います。

#### ○薬の飲み合わせ、重複チェックなど薬のトラブルを防ごう！

病院受診時にはほとんどの場合、薬が処方されます。複数の病院で同じ薬を重複して処方されている、と言ったケースは少なくありません。こうした薬の重複によるトラブルは「お薬手帳」があれば防ぐことが可能になります。また、ドラッグストアで購入した市販薬、健康食品についても「お薬手帳」に記載することをお勧めします。湿布や塗り薬などの外用薬、点眼薬についてもぜひ記載して下さい。薬の飲み合わせは内服薬だけに限りません。

#### ○お薬手帳を持ち歩こう！

地震などの大規模災害時に薬がなくなっても、「お薬手帳」を携帯していれば自分の薬を正確に把握する事が可能です。中越地震や東日本大震災の時にも「お薬手帳」が大変役に立ったと聞いています。また、旅行中の急病時やお薬を忘れてしまった場合にも役立ちます。

#### ○色々書き込んでみよう！

「お薬手帳」は医師・薬剤師の為にある訳ではありません。患者様との大切なコミュニケーションを確実にする為のものでもあるのです。次回の診察日を記入したり、血圧や血糖値などの検査値を記入して頂いても構いません。また、困っている事、気になっている事、次回相談したい事など…ぜひ積極的に記載してみてください。家に薬が残っている場合には、何が何錠残っているかを記入して頂くのも良いでしょう。次回診察時に処方量を調節することで、薬代を節約する事もできます。

#### ○お薬手帳は1人1冊！

服用している薬の内容を1冊にまとめることが大切です。「お薬手帳」は処方箋と同じで全国共通、どこの病院、薬局でも使うことができます。通っている病院ごと、薬局ごとに使い分ける必要はありません。これを機会にかかりつけの薬局、薬剤師を作り、[お薬手帳]を1冊にまとめて下さい。

この度4月の診療報酬改訂で「お薬手帳」を薬局に持っていくと、薬局での料金が安くなる場合があります(いくつかの条件がありますので、詳しくはかかりつけの薬局で聞いてみてください)。これだけ聞くと「お薬手帳」があたかも割引券として考えられがちですが、そうではありません。複数の医療機関の処方箋を1つの薬局で管理する「かかりつけ薬局」を皆様にもってもらう、そしてお薬手帳を活用する事で薬の一元管理ができる場合には薬局での料金を少し安くしようと言うのが本来の目的です。これにより、安心かつ安全な薬物治療が実現できるのです。この機会に「お薬手帳」を持つ習慣をつけていただければ幸いです。また、入院時にもぜひお持ち下さい。

【薬剤室 副室長 いしづか みほ 石塚 美穂】